

## 平成15年度ネットワーク部会の活動報告

著者	橋本 明浩
雑誌名	看護研究交流センター事業活動・研究報告書
巻	15
ページ	127-127
発行年	2004-06
その他のタイトル	A Report of Networking for Nursing Science Center
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10631/283">http://hdl.handle.net/10631/283</a>

平成 15 年度 ネットワーク部会の活動報告

橋本明浩

新潟県立看護大学 (情報科学)

A Report of Networking for Nursing Science Center

Akihiro Hashimoto

Niigata College of Nursing (Information Science)

キーワード： ネットワーク (Network)

### 要旨

本部会では看護研究交流センターの情報基盤整備に関して、情報の発信、情報の検索、情報蓄積に関する基礎的な基盤整備を行った。

### 概要

上越市に位置する本学看護研究交流センター(以下本センター)が新潟県下の県民及び看護、行政関連の多くの人に本センター研究成果を広報し、地域貢献を果たすためには、適切かつ効率的な情報の発信、蓄積、検索が必要不可欠である。そこで本年度は以下の節に 3 つの課題で実施することとした。

- 1) 上越地域を限定とした信頼度を考慮した看護医療系メタデータ検索システムの構築のこころみ (研究報告 (1))
- 2) 多言語ドメインの現状と課題 (研究報告 (2))
- 3) 新潟県立看護大学における Linux・Apache における不法アクセスの監視 (研究報告 (3))

### 詳細

詳細は以下の個別報告で示す。

### 部会委員氏名

部会委員氏名を下表に示す。

職名・職位	氏名	所属
部会長・助教授	橋本 明浩	新潟県立看護大学 (基盤科学)
部会委員・教授	吉山 直樹	新潟県立看護大学 (基盤科学)
部会委員・教授	加藤 光寶	新潟県立看護大学 (成人看護)

### 今後の課題と展望

新潟県の財政等の諸般の事情もあるが、看護研究交流センターでの適切かつ豊富な情報発信がなければ、研究成果の情報は死蔵化されていると言っても過言ではないと思われる。今後はさらなる情報発信、蓄積の中核として使命を果たす必要があるとも思われる。